

融合研が 発 会 し ま し た

8月3日(日)、各方面の期待を受け学校と地域の融合教育研究会(略称、融合研)が参加者の賛同を得て発会しました。夏の暑い日だったにも関わらず25人の参加と、当日は欠席でしたが会員登録をするという30人を加え、56人の会員でのスタートです。

発会当日は、事務的なことより、先ず会の主旨である情報交換をしようということで、午前中は秋津小学校・秋津コミュニティの事例を中心にして呼び掛け人の「岸 裕司」「宮崎 稔」「直井 和子」「矢吹 正徳」(敬称略)より発表がありました。また筑波大学の山本恒夫教授は、連携と融合の意味の違い等を含めて現況について話されました。また、午後からは正式な発会手続きをしたあと、会の活動に関わる内容で、会員が感じている現状の問題点をワークショップ形式で出し合いました。

会員の所属(' 9 7 . 9 . 3 0 現在)

教 員				教育行政	地域活動	P T A 他	合 計
小	中	高	大				
11	4	1	7	21	14	7	65

北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
1	3	49	2	3	3	1	3	65

発会式の呼び掛けは、新聞・雑誌等で紹介記事のあった方や学校、またそれらの方からの紹介者を中心に、150余名に行いました。8月3日以降の入会者を含め、上記のように現在65名の会員登録があります。今後ますます増加し、多方面からの情報提供が期待できると思います。乞う、ご期待!

役員・事務局運営

会としての活動が軌道に乗るまでは、呼び掛け人を中心にした役員構成が良いという意見から、次のように決まりました。

会 長 宮崎 稔(習志野市立秋津小学校校長)

副会長 岸 裕司(習志野市秋津コミュニティ会長兼秋津小学校コミュニティルーム運営委員長)

もう一人の副会長は空席とし、会の運営が活発化してきたときに役員会で推薦しようということになりました。

監 事 野澤 令照(仙台市生涯学習部主査兼社会教育主事)

吉川 真紀(習志野市秋津コミュニティ運営委員)

事務局 野口 陽一（習志野市秋津コミュニティ副会長兼秋津小学校コミュニティ
ルーム運営副委員長）

矢吹 正徳（日本教育新聞編集局記者）

宮崎 雅子（佐倉市井野小学校教諭）

事務局所在地（連絡先）

〒275.千葉県習志野市秋津 3-1-1 習志野市立秋津小学校

.0474-51-8111 FAX.0474-51-8112

〒285.千葉県佐倉市中志津 7-17-4 宮崎 稔

.043-489-7809 FAX.043-489-7809

連携と融合 - - - 筑波大学 山本 恒夫教授の話より

学社融合は、日本の教育の今後の課題であります。また、生涯学習社会を創ろうということは、日本だけでなく世界の課題でもあります。社会教育・家庭教育が必要という時代ですが、その中で学校との関わりをどう作るかということになるわけですが、その方法は、ということになると頭を抱えてしまうことが多いのが現状です。タテのつながりはできるが、ヨコのつながり（ネットワーク）が難しいからです。

連携は、GIVE AND TAKE の関係です。この関係がズレてしまうとうまく行かなくなります。しかし融合は、互いに持ち出して、「モノ」「ヒト」「方法」「場」の多様な体験で創造性ある人間を創ろうというものです。1+1=2になるよう「一緒にやろう。そして、新しいもの創ろう。」というものです。ですから「融合」とは、魅力的なことばです。その推進のためには、自然体で行きたいと思います。

ワークショップから - - - 今、課題と考えること

参加者から、融合を推進するにあたって「学校」「地域」「行政」の三者を巡る課題についてどう感じているか、をフリー記述の形で出していただきました。

学校と地域

- ・地域活動を楽しめるよう、教師へのゆとりと意識付けが必要である。
- ・学校側も、地域の要望をもう少し聞く耳を持った方がよい。
- ・他人から指摘されないと気がつかないが、指摘されるともっともだということがよくあります。教育は学校だけでなく、地域や父母が一体となってやるものだというのもその一つです。「良識ある父母の力を借りることを、学校は拒まないでください。」
- ・部活動など地域でできるものは、どんどんやってほしい。教員は高齢化していて指導が年々厳しくなっている。
- ・地域住民が自由に訪問できる学校っていいですね。未就学児・卒業生等、学校に子どもがいない家庭、子どものいない人・下宿している大学生・高齢者等、「学校はまちづくりの核」になります。現状は地域住民を排除する学校が多いです。学社融合は、卒業生がバイクなどで押しかけてきたりして、中学校では夢のような話です。

学校と行政

- ・学校中心の考え方（特に一般教員に多いが）を切り崩す必要がある。市教委等、上から

の働きかけも効果的（悉皆研修の中でとりあげる）。学校への効果的な働きかけの仕方が課題である。

- ・学校の図書館と公共の図書館がネットワークを組むことで図書費が重複なく活用できると思います。また、同じように公民館をはじめとする地域の社会教育施設と学校が相互に情報等を交換すると互いによりよいものになるのでは。
- ・援助型の行政姿勢への転換を。市民活動との対等なパートナーシップを持てる意識づくりを。
- ・人材活用ということで、N市では一律「1学年5000円」という予算がついているが、現場での要望が生かされず強制的である。現場（学校）のことをもう少し考えてほしい。

地域と行政

- ・自立した市民活動とグループ組織間のネットワーク。共同事業の試みを。
- ・現行法規でもできることはたくさんあるので、柔軟に法を解釈する道をさぐってくれることを期待します。

会員からの声

発会当日に参加した方および参加できなかった会員からは手紙等で、会の発足についてのご意見や習志野市秋津地区の実践資料を読んでの感想等が届きました。一部紹介します。この度の融合教育研究会の発足を心よりお祝い申し上げます。ここに到達するまでの御 労苦に敬意を表します。総会資料を拝読いたしました。秋津コミュニティ会長の岸様 はじめ皆様のご理解とご協力が大きな力となって、このような素晴らしい会をスタート させることができたものと喜びで一杯でございます。遠隔の地に居りますので思う様に はお手伝いできないと思いますが、仙台でもこの趣旨に賛同する仲間を一人でも多く獲得するために努力したいと思っています。（H.S）

全国的な組織ができることを嬉しく思います。勤務校が今年11月20日にこの内容で発表 します。私も研究同人として参加します。情報交換が楽しみです。（T.M）

大変意義のある会であります。内なる教育改革の起爆剤となると思います。「呼び掛け人」の皆様の御尽力と英断に敬意を表します。盛会を祈念致します。（H.S）

こういう研究会ができることを待っていました。会合への参加はなかなかできないかと思いますが、情報がいただきたいし活動のアイデアは出せるかも知れません。（M.O）

学社融合の具体的な取り組みがはじまっているこの時期に、研究会が設立されることに大きな期待を抱いています。みんなの力で素晴らしい会になればと思います。（T.I）

地域に開かれた学校は、近年とみに求められている教育課題です。易しいようですがなかなか組織的に取り組んでいくことは難しいものですが、貴校の実践は素晴らしいものがあり、もっと内容を知り本校に活かせればと思います。（Y.I）

過日は突然の電話にも関わらず、親切なお話を誠にありがとうございました。また早速資料をお送りいただきまして有り難く、一気に読み上げました。活動の経過と発想が素晴らしく、私も今後の運動の参考にさせていただきます。また、同じ運動をしている私の友人にも渡したいと思いますので、再度資料をいただきたいと思います。入会登録用紙は郵送いたしました。ますますのご活躍をお祈りいたします。（Y.K）

私は4年前、40年間のサラリマン生活を定年退職し、その後町内会長等、種々の地域活動をしてきました。そして本年4月より自治会長を務めることになりました。初めての体験でございます。ところがこれは、市の青少年健全育成会議という組織を自動的に兼務することになっています。本年も10月20日頃にテーマ「非行防止は、学校・家庭・地域から」で全体会議と分散会議をすることが決定し、私とその責任者に指名されました。不安が募るばかりですが手元には、一切の資料がありません。そんな折、同様の活躍の新聞記事を目にし、なんとかお助け賜りたく失礼を顧みず資料のご提供をお願いするものです。よろしく願いいたします。(H.M)

会の趣旨等、大賛成です。わたしも地域との連携をどのようにといろいろ考えて取り組んだものの一人です。読売新聞の「あすへの実践」も感銘深く読ませていただきました。いろいろと大変だと思いますが頑張ってください。(K.H)

早速資料をお送りいただきましてありがとうございました。私たちの市の社会教育委員会では、「地域と学校」をテーマに2年間にかけて調査研究し、提言書をまとめる予定です。こんなすばらしい先進校があるとは思ってもみませんでした。読ませていただいて尊敬とうらやましさを一杯でした。(H.W)

資料を送っていただき誠にありがとうございました。「できない人も大事な人材」「学ぼうとする大人の姿そのものが教材である。」とのご指摘、感動を覚えながら読ませていただきました。また、「完璧ではない今の学校・学級をできるだけ外部に見せたくないという精神的な狭さ・・・」もまったく同感です。「連携を可能にする理念についての考察」もうなずきながら読ませていただきました。会の趣旨にも賛成です。勤務校が「地域を生かす教育グレードアップ」の指定を受けています。若干資料を同封いたしましたので目を通していただければ幸いです。(T.N)

過日は受賞された論文を送ってくださりありがとうございました。朝日新聞に掲載された記事と併せて、職場で回覧いたしました。(Y.M)

会 長 所 感(NO.1)

融合研究会の呼び掛け人ということで会長に推挙されました。呼び掛けの趣旨にもございますように、一人ひとりが持っている情報や手法を自分だけのものとせず、是非交換しあって、学校と地域の融合に寄与できればと思っております。

融合の成否は、学校の姿勢が大部分を占めると思っています。「学校のガードが固くて。」という声はずいぶん耳にしております。それだけに、学校で直接教育に携わっている教師・管理職の入会を特に期待しています。現状は、教育行政に関わっている人の方が問題意識も高いようで入会者も多い訳ですが、今後、活動を活発にさせていくとともに、呼び掛けにも力を入れていきたいと思っています。

しかし、ある大学関係者が「このような講座を開催すると、確実に、年々教師の参加者が増えています。学校にも問題意識を持っている人が増えてきています。ですから、焦らずに少しずつでも成果を挙げていきましょう。」とおっしゃっていました。この言葉に勇気づけられ仲間の輪を広げていきたいと思っています。皆様、楽しく活動していきましょう。

(宮崎 稔)

融合研のマーク

関 知磨子様（秋津コミュニティの劇団「蚊帳の海一座座長」兼「アトリエ世話役」）にお願いして、融合研のマークとして、右のようなデザインのものを描いていただきました。（ラフです）

このデザインは、ヒトと自然（鳥と木）が一体となって、融合（英語で fusion）する様を表現しています。可愛いがってくださいね。



今後の計画

（現在、原文掘り起し中！）

研究会情報

今回は、習志野市秋津地域に関係することのみになってしまいました。皆様からの情報（ご執筆論文等も）をお待ちしております。

9月14日（日） 関東甲信越静社会教育研究大会 於・静岡県熱海市

（習志野市社会教育委員さんが、秋津の事例を発表しました）

内容問い合わせ先、習志野市教育委員会生涯学習部社会教育課「直井和子」

（電話）0474-51-1144

9月29日（月） 文部省「第3回全国ボランティア活動推進連絡協議会」

於・東京代々木青少年オリンピックセンター

（スクールボランティア部会にて、宮崎会長「秋津の事例」発表）

内容問い合わせ先、融合研事務局・秋津小学校（電話）0474-51-8111

10月3日（金） 神奈川県津久井教育事務所主催「生涯学習と地域の役割」講座

於・神奈川県津久井郡城山町（3:00より岸副会長と野口事務局員が「秋津の事例」発表） **内容問い合わせ先**、（電話）03-5689-5711「パンゲア内、岸裕司」

または津久井教育事務所「内田先生」へ。（電話）0427-84-1111内線535

10月24日（金）12:15より 習志野市立秋津小学校「秋津っ子まつり」

地域と子どものふれあいコーナーがあります。参加自由。

内容問い合わせ先、融合研事務局・秋津小学校（電話）0474-51-8111

10月25日（土）15:00～20:00 秋津祭り前夜祭 参加自由

26日（日）9:00～15:00 秋津祭り 参加自由

（秋津コミュニティによる「おばけ屋敷」と「秋津っ子バザー」の開催があります） **内容問い合わせ先**、融合研事務局・秋津小学校（電話）0474-51-8111

11月29日（土）18:30 30日（日）13:30～16:30～

秋津コミュニティの蚊帳の海一座第6回公演「からくり昆虫群」（3回公演します）

於・習志野市津田沼菊田公民館 参加自由（入場料800円、前売り有700円）

内容問い合わせ先、融合研事務局・秋津小学校（電話）0474-51-8111

12月28日（日）9:00～ 「秋津コミュニティ餅付き会・忘年会」参加自由

於・秋津コミュニティ **問い合わせ先**、融合研事務局・秋津小学校（電話）0474-51-8111

3月14日（土）10:00～ 「習志野市新習志野公民館まつり」

秋津コミュニティ参加。参加自由

9月5日 草土文化発行「子どもしあわせ」に執筆。執筆者、種田祝次

「楽しくなくちゃ運動会」

内容問い合わせ先、習志野市谷津3-1-31-801（電話）0474-53-8852 種田祝次

10月15日 千葉県総合教育センター発行「千葉教育」に執筆。執筆者、宮崎稔

「こんな学校みたことない」 **内容問い合わせ先**、事務局（電話）0474-51-8111 宮崎

11月25日 千葉県教育文化センター編集出版委員会発行「ちば-教育と文化」に執筆。

執筆者、岸裕司 「かるやかな学校と地域の融合（仮）」

内容問い合わせ先、（電話）03-5689-5711「パンゲア内、岸裕司」

12月 5日 太郎次郎社発刊「ひと」に執筆。執筆者、岸裕司 「学校に出没するヘンなおじさん・おばさん - - その後(仮)」

内容問い合わせ先、(電話)03-5689-5711「パンゲア内、岸裕司」

10月 4日(土)東京都足立区教育委員会が秋津小学校を参観視察に見えます。

10月21日(火)栃木県鹿沼市教育委員会が秋津小学校を参観視察に見えます。

10月28日(火)静岡県大井川町教育委員会が秋津小学校を参観視察に見えます。

会員の紹介により仲間を広げていこうとする活動が、このような視察につながっているのだと思います。

融合研ミニフォーラム

早速、第一回ミニフォーラムを開催します。

1.日時 平成9年12月20日(土)2:00~5:00

2.場所 秋津小学校コミュニティルーム

3.内容 「クラブ活動への保護者や地域の方の参加について - - その理念や方法 - - 」
父親や地域の男性を学校に呼び込む方法なども討議できると思います。

4.会費 **融合研会 員 - - 500円**

非会員 - - 1000円(当日、年会費を支払って会員になる方は「読売教育賞受賞論文」をはじめ融合研資料をつけて会員と同額になります)5.申込み FAX 0474-51-8112 か、(電話)0474-51-8111で事務局まで。当日でも受け付けます。

当日は、10:30から秋津小学校のクラブ活動が行われます。実際にご覧になりたい方は、早めにお越しください。(参観自由)

会報の発行について

会報は、年間4回以上を目標に、適宜発行していきたいと考えています。内容は、事務局でもいろいろな記事に気がつくますが、会員皆様からの情報が中心になります。会員の手作りによる会であるという趣旨にのっとり、どうぞ研究物や目についたものの他にミニレタ - や「こんな会合あります情報」等をお寄せください。

お互いに情報交換をしましょう。

会費は当面のところ、事務連絡費が主になると思われます。今後の計画にも記載しましたように、インタ - ネットが整備されると経費の削減が可能になると思います。

年会費の納入は、ご面倒でも下記をお願いします。

年会費--2.000円 資料代--1.000円(送料込み)

振込み先--千葉銀行習志野袖ヶ浦支店(店番号 038)

「口座番号 3105928 融合教育研究会 宮崎 稔」

会員の特典について検討中です。当面、「資料代を無料にする」「フォーラムや講習会費の減額」等を考えています。